

8月20日(火), 21日(水)

ハワイ島にある姉妹校ホノカア高校で、短期留学生3人の生活が本格的にスタートしました。まずは2日間で日本語の授業6コマに参加しました。小さなグループに分かれて、ホノカア高校の生徒は日本語で、加計高校の生徒は英語で、それぞれ自己紹介を行いました。ひとつのコマは75分あり、終了時には3人ともかなり疲れていましたが、姉妹校の生徒たちとコミュニケーションを十分にとることができました。



授業の後にみんなで記念撮影



日本語授業の様子



似顔絵を描いてくれました

21日は小田校長先生と栗栖同窓会長がホノカア高校に滞在される最後の日でした。ちょうどこの日に、3年間工事で使えなかった体育館の再オープンを祝うためのassembly(全校集会)が開かれ、加計高校からの訪問団がゲストとして紹介されました。小田校長先生が、ホノカア高校の良いところを、ユーモアとパフォーマンスを交えて伝えると、ホノカア高校の全生徒と先生方から拍手喝さいを受けました。

→さすが小田校長先生盛り上げ上手



←生徒も一人ずつ、全校の前で自己紹介をしました。(左)



←折り紙のツルでできた歓迎ボード。加計高校のために、わざわざ手作りです。(右)



ホノカア高校の事務棟の入り口には、加計高校との姉妹校の歴史が展示されています。今回の訪問団もこの展示を見ることができました。加計高校もホノカア高校も、かかわる人たちの

思いは常にひとつです。「姉妹校の交流が末永く続きますように！」